



赤ちゃんの鼻づまり



赤ちゃんは鼻が小さいので、ちょっとしたことで鼻がつまりやすく、いったん鼻づまりになるといつまでもグズグズして、なかなか治りません。鼻がつまると母乳やミルクが飲みにくい、機嫌がよくなり、寝苦しい、などの症状が続いてしまいます。赤ちゃんの鼻づまりをすばっと解決する方法はありませんが、以下の方法が有効です。お試しあれ！！



1. 蒸しタオルで鼻を温める。

蒸しタオルで鼻を温めると、鼻の周囲の血管が拡張して、鼻の通りがよくなります。ただし、窒息しないように気を付けて下さい。



2. 鼻根部 マッサージ

鼻の付け根(大人だとメガネの当たる場所)を指で揉み揉みすると、鼻の周囲の血管が拡張して、鼻の通りがよくなります。ただし、眼球を強く押さないように気をつけて下さい。



3. 漢方薬

麻黄湯を服用すると鼻の通りがよくなります。少量のぬるま湯でねって、赤ちゃんの頬の内側に塗って下さい。ペロペロ舐めます。電子レンジで少量の湯とチンすると飲みやすい場合があります。冷ましてからスプーンで与えるか、麦茶や乳幼児イオン飲料、お砂糖に混ぜて飲ませて下さい。当院で処方します。



4. 鼻汁吸引器 + 重曹食塩水噴霧

赤ちゃん用の鼻汁吸引器が市販されています。まめに吸ってあげて下さい。重曹食塩水を赤ちゃんの鼻腔(鼻のあな)に噴霧して、その後に鼻汁吸引器で吸ってあげると効果があがります。専用容器付の重曹食塩水を当院で処方します。



5. 当院での強力鼻汁吸引

当院では鼻用吸引器と赤ちゃん用の鼻チューブが常備してあります。つまって苦しい場合には、ジュジュと吸引します。いつでも来院して下さい。



6. 抗生物質

膿性鼻汁の場合には、ブランハメラ、肺炎球菌、ブドウ球菌、インフルエンザ菌などの細菌が着いていることがあります。この場合には抗生物質を処方することがあります。ブランハメラが鼻に付着するといつまでもクチャクチャと治りにくいようです。

